

火山部会集会

2017/3/1 13:00 - 3/2 16:30

於 地震研究所 2号館第2会議室

連絡担当者：大倉 敬宏（京都大学）

3月1日

13:00-13:10	大倉 敬宏	イントロダクション
13:10-13:35	新谷 昌人	小型絶対重力計を用いた火山監視技術の開発
13:35-14:00	森 俊哉	噴火推移モニタリングのための火山ガス観測装置の開発
14:00-14:25	村上 亮	Lバンド航空機 SAR による革新的火山観測手法の開発
14:25-14:50	田中 宏幸	素粒子ミュオンを用いた火山透視技術の可用化プロジェクト 休憩 15min
15:05-15:35	井口 正人	桜島火山におけるマグマ活動発展過程の研究
15:35-16:05	大湊 隆雄	地球物理・地球化学統合多項目観測および比較研究によるマグマ噴火を主体とする火山の定量化とモデル化
16:05-16:35	三浦 哲	蔵王山周辺の総合観測
16:35-17:05	野上 健治	水蒸気爆発場の物理・化学状態の把握と火山流体の挙動
17:05-17:30		討論

3月2日

09:30-09:55	大見 士朗	焼岳火山の噴火準備過程の研究
09:55-10:25	橋本 武志	多項目観測に基づく火山熱水系の構造の時空間変化の把握と異常現象の検知
10:25-10:55	大倉 敬宏	水蒸気噴火後の火山活動推移予測のための総合的研究 ー御嶽・口永良部・阿蘇ー 休憩 15min

11:05-11:30	中道 治久	近代観測以降の大噴火時の観測データの整理と 低頻度大規模噴火予知に寄与する情報の抽出
11:30-12:00	中川 光弘	地質および物質科学的データに基づく低頻度大規模 火山現象およびその準備過程の研究
12:00-12:25	安田 敦	揮発性成分定量による活火山爆発力ポテンシャル 評価とマグマ溜まり深度の再決定
13:30-13:45	中村 美千彦(代理:)	岩石組織に基づく火道浅部プロセスの 推定手法の開発
13:45-14:10	金子 隆之	衛星赤外画像による噴火推移の観測と類型化に関 する研究
14:10-14:35	佐野 有司	地球化学的探査による海底火山および海底熱水 活動の調査
14:35-15:00	野上 健治	海底火山活動の評価手法の開発に関する研究 休憩 15min
15:15-15:30	中川 光弘	噴火履歴及び観測事例に基づく噴火事象系統樹 の試作
15:30-16:00	西村 太志	観測事例及び理論予測に基づく噴火事象系統樹 の分岐条件の検討
16:00-16:30		総合討論